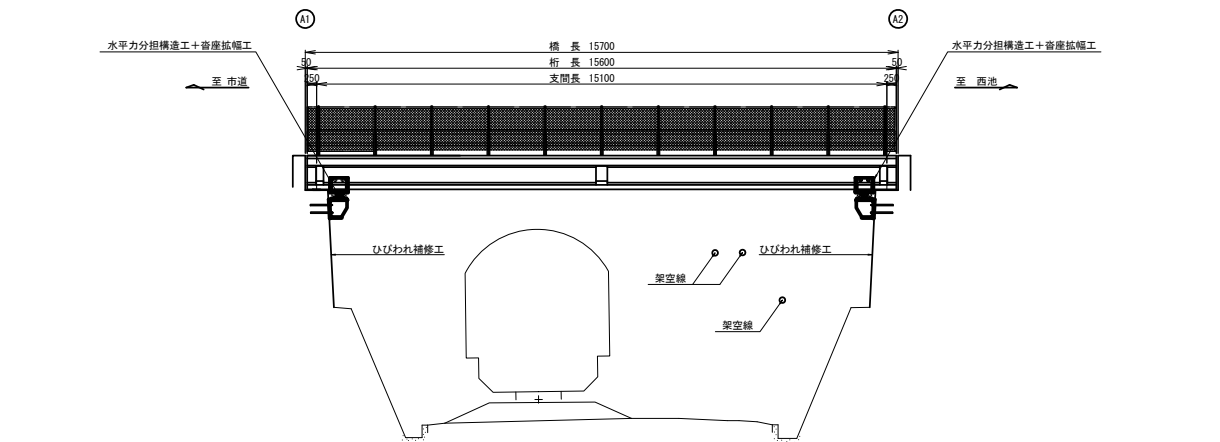
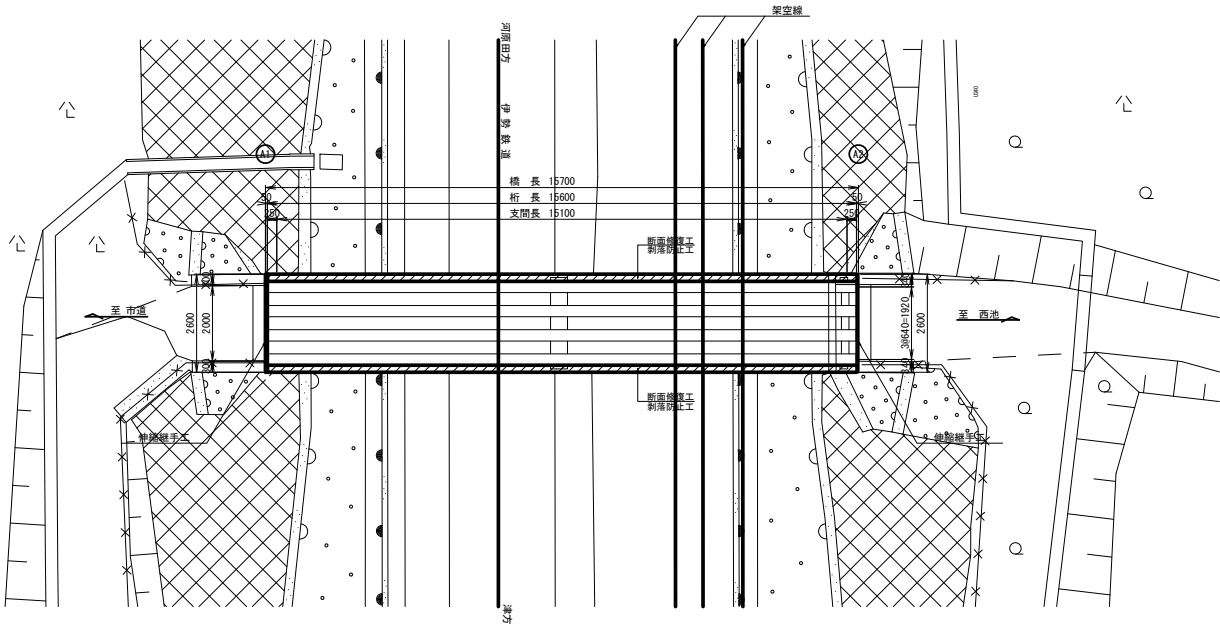


西千里12号線（跨線橋） 補修一般図

側面図 S=1:100

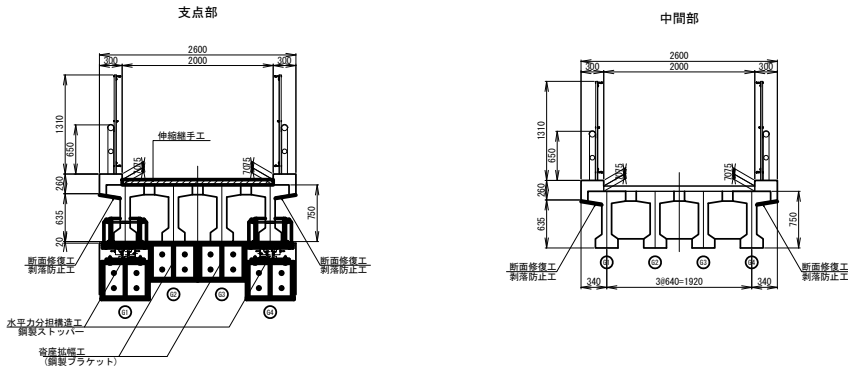


平面図 S=1:100



KBM (JR境界杭)
H=20.000

断面図 S=1:50



橋梁諸元

竣工年月	1967年(昭和42年)	
橋格	人道橋	
型式	上部工	プレテンション方式単純PCT桁
	下部工	不明
	基礎工	不明
橋長	L=15.70m	
桁長	L=15.60m	
全幅員	W= 2.60m	
有効幅員	W= 2.00m	
斜角	90°00'00"	
舗装	コンクリート舗装	
適用示方書	鉄筋コンクリート道路橋設計示方書 (S39)	

補修項目一覧

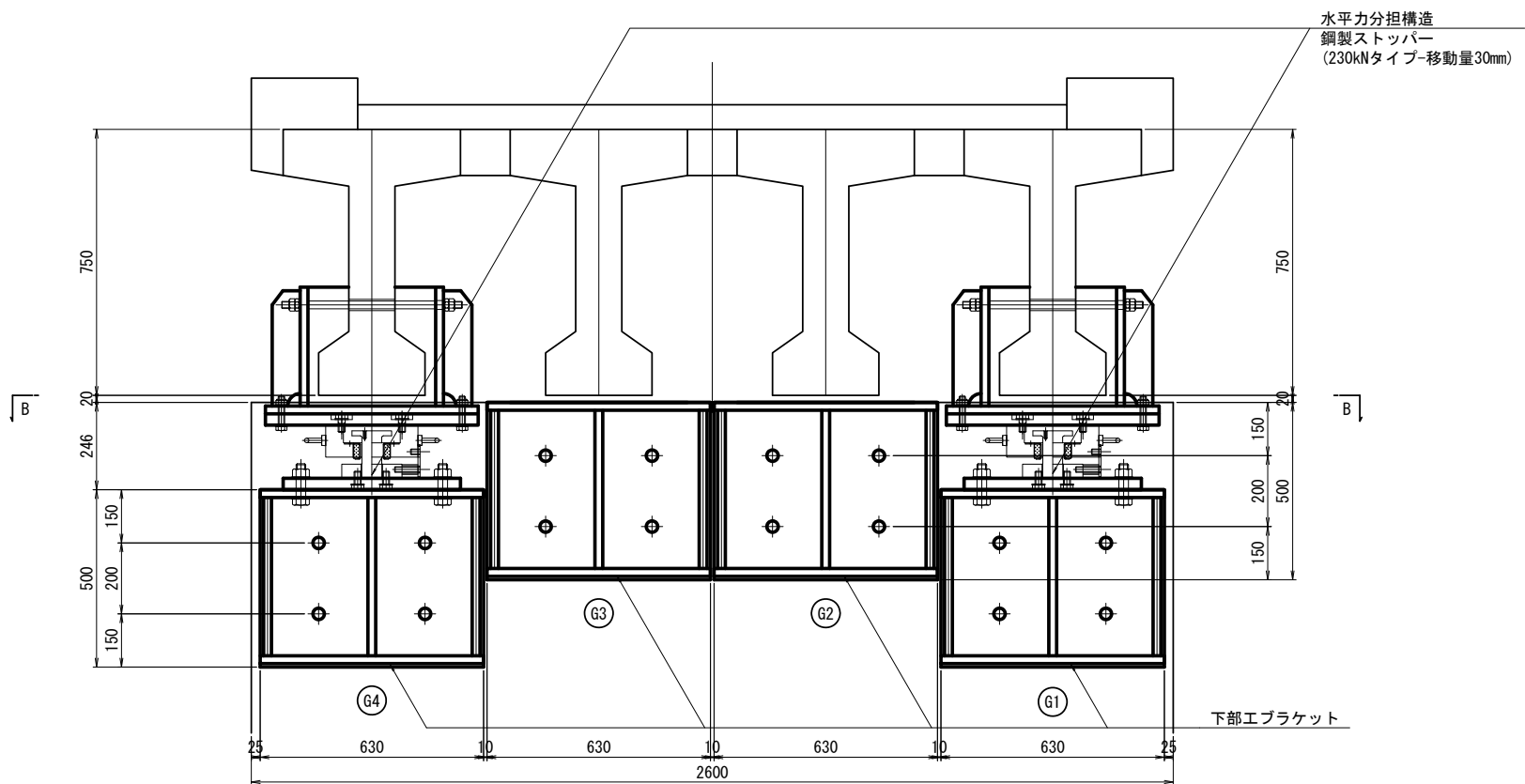
補修内容	施工箇所
沓座拡幅工(鋼製ブラケット)	A1, A2橋台
水平分担構造工(鋼製ストッパー)	A1, A2橋台
断面修復工	床版張出
剥落防止工	床版張出
伸縮継手工	A1, A2橋台
ひび割れ補修工	A1, A2橋台

※この図面はA1サイズを原寸とする。
西千里12号線（跨線橋）

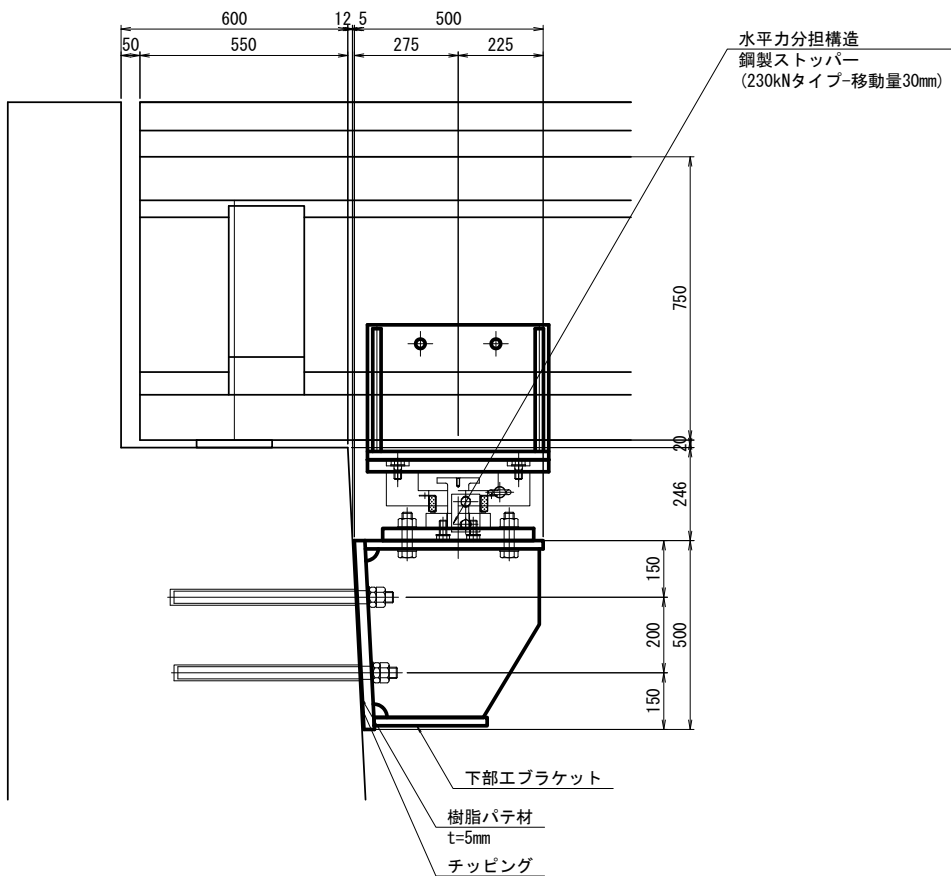
工事名	令和元年度 北橋維補第3号 西千里12号線（跨線橋） 橋梁長寿命化修繕工事		
施工箇所名	津市河芸西千里地内		
図面の種類	補修一般図		
縮尺	図示	図面番号	1/11
事業所名	津市建設部津北工事事務所		

西千里12号線（跨線橋） A1橋台水平力分担構造取付図 S=1:10

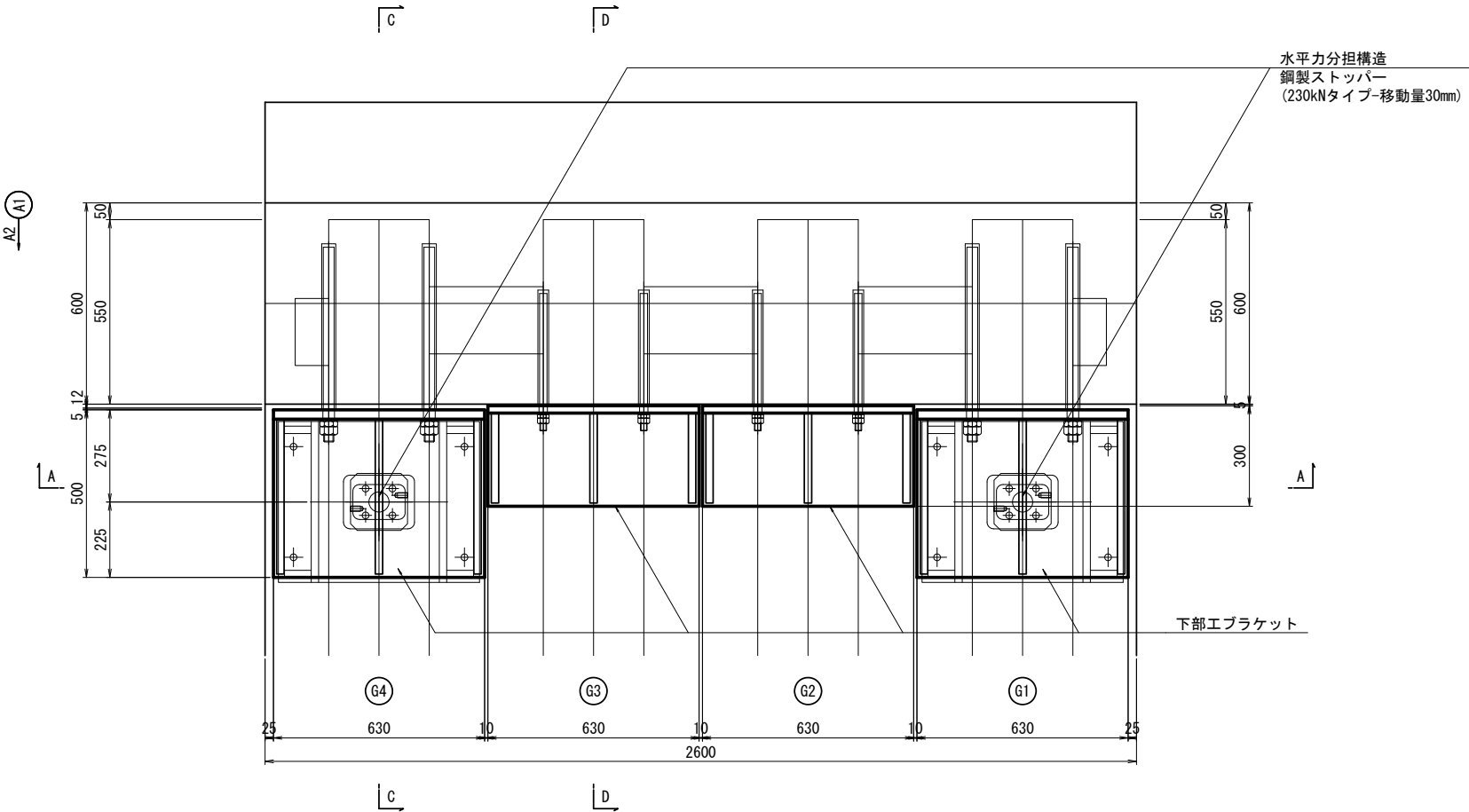
A - A



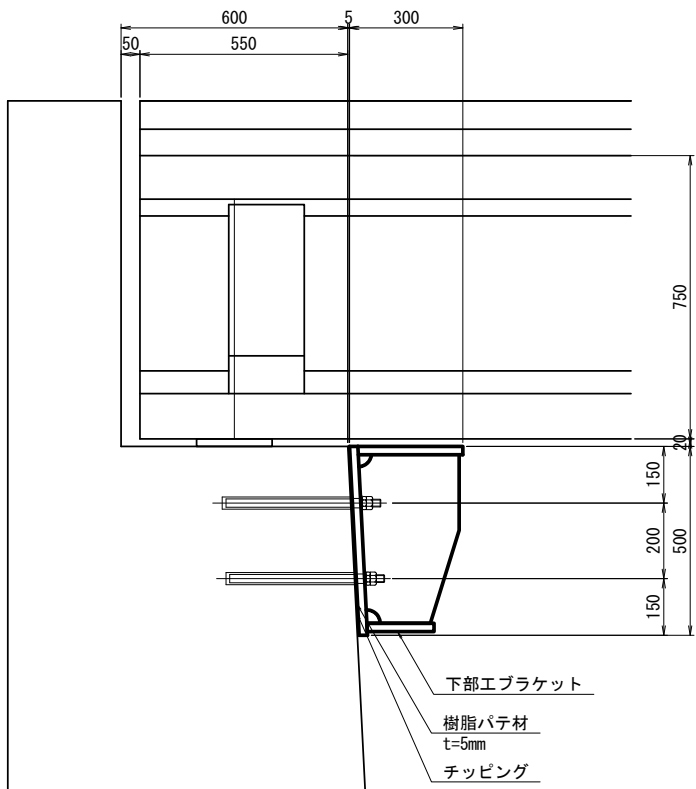
C - C



B - B



D - D



＜注記＞

1. 現地実測を行い、協議の上寸法を決定すること。
2. 既設躯体の鉄筋を探索の上、アンカー用の削孔を行うこと。又、アンカー位置の変更は、協議の上位置を決定すること。
3. 主桁削孔の際には、鉄筋とPC鋼材を探索の上、削孔を行うこと。又、位置の変更は協議の上位置を決定すること。

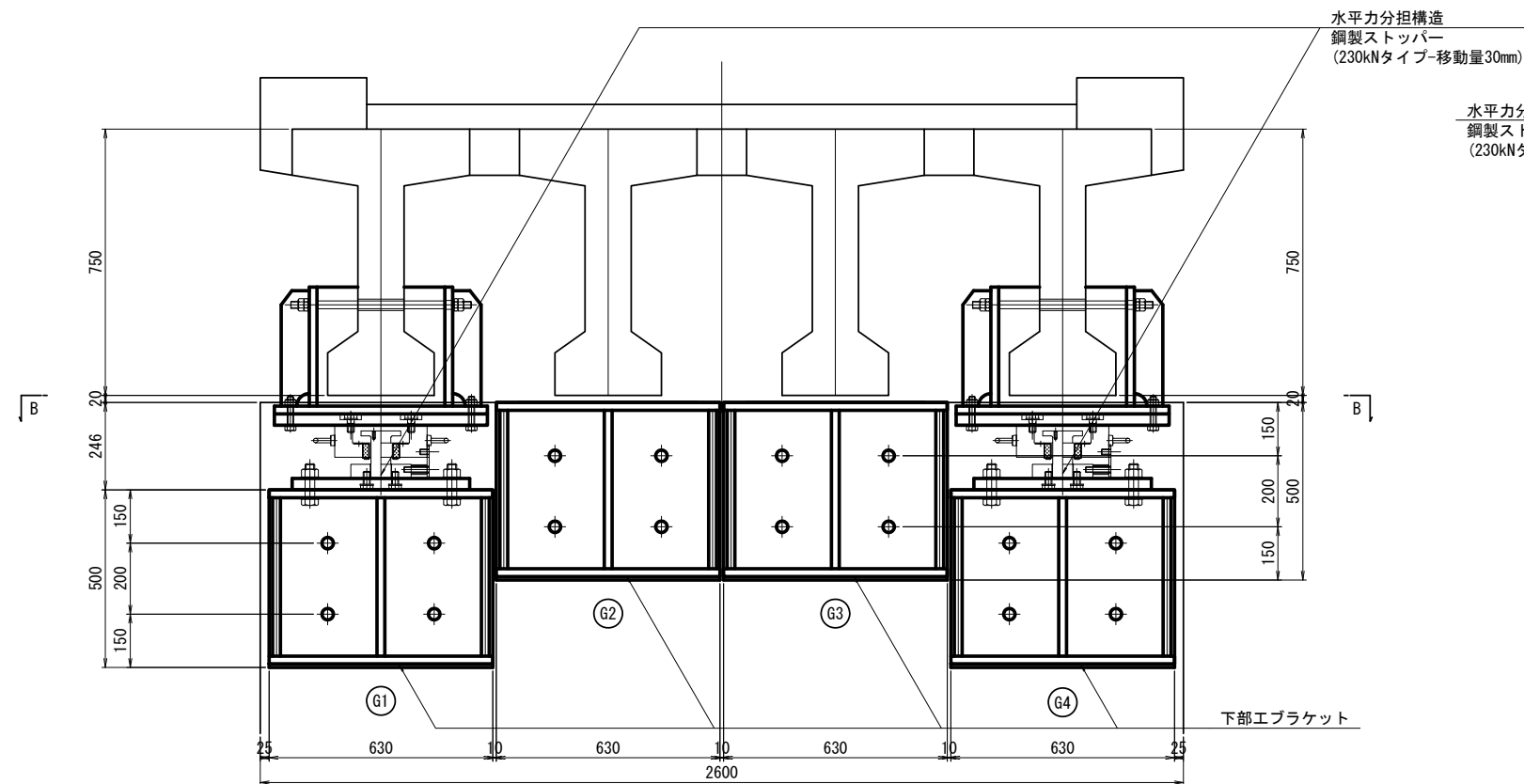
※この図面はA1サイズを原寸とする。

西千里12号線（跨線橋）

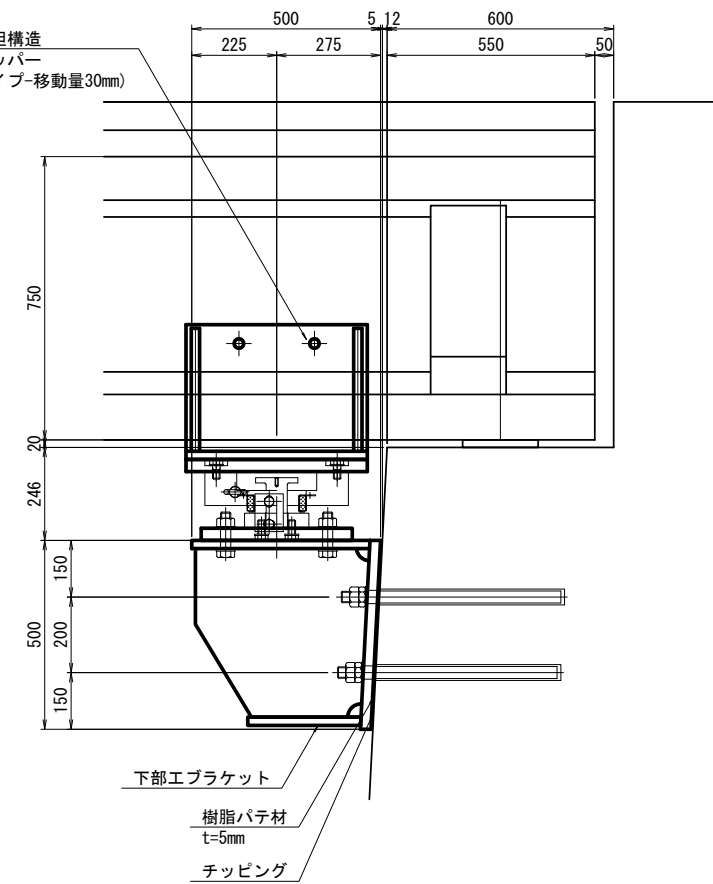
工 事 名	令和元年度 北橋維補第3号 西千里12号線（跨線橋） 橋梁長寿命化修繕工事		
施工箇所名	津市河芸西千里地内		
図面の種類	A1橋台水平力分担構造取付図		
縮 尺	図示	図面番号	2/11
事 業 所 名	津市建設部津北工事事務所		

西千里12号線（跨線橋） A2橋台水平力分担構造取付図 S=1:10

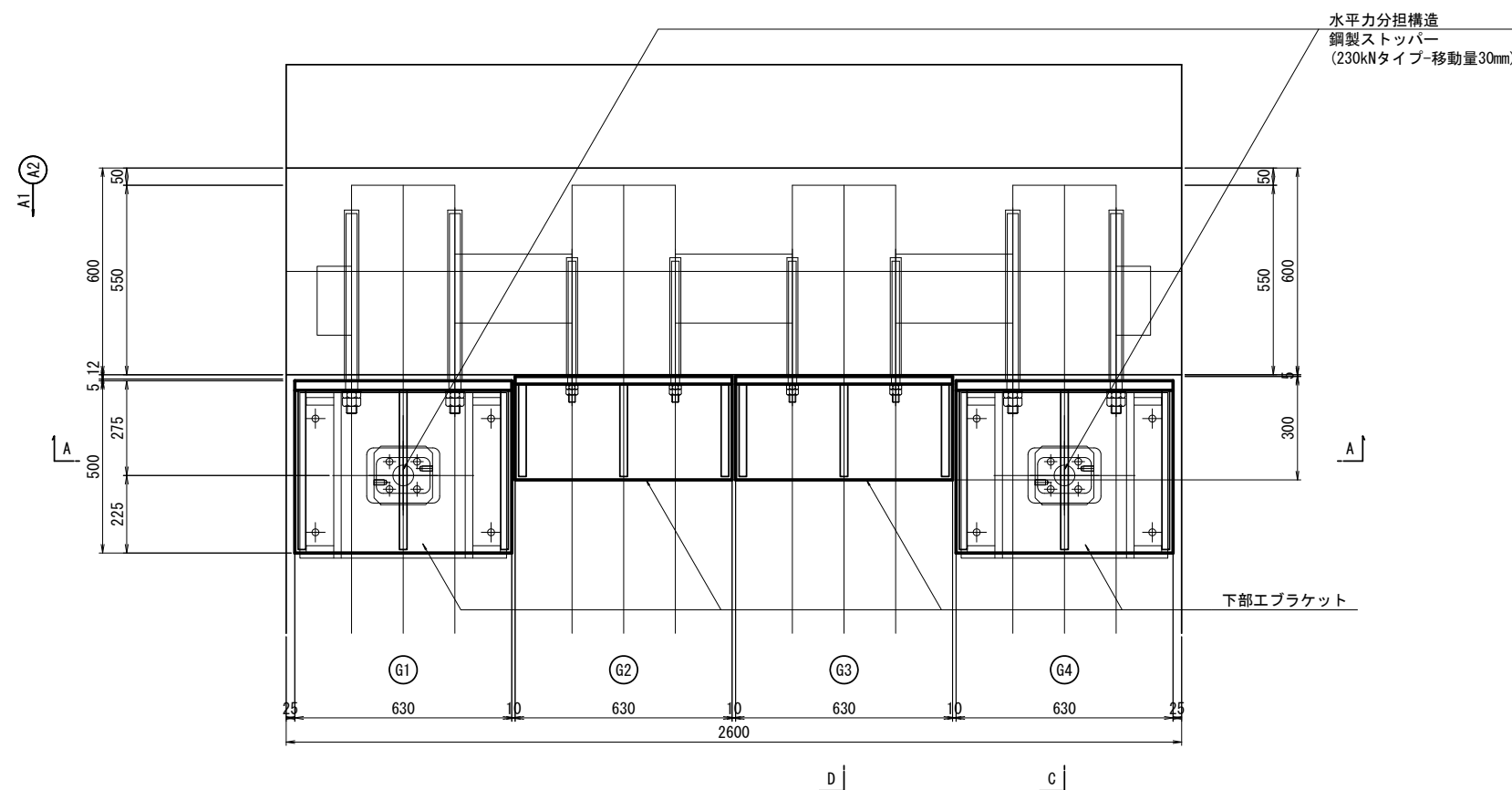
A - A



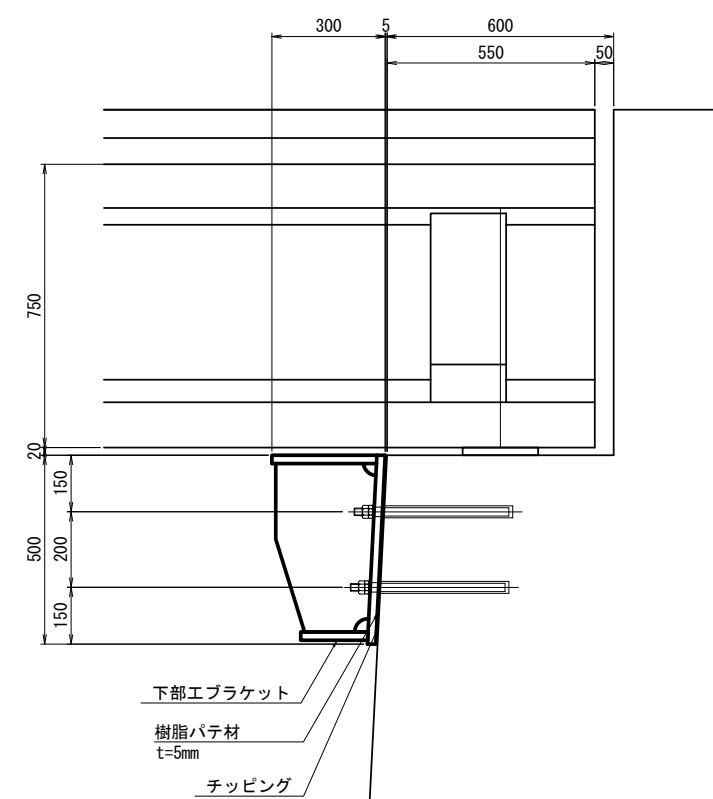
C - C



B - B



D - D



〈注記〉

1. 現地実測を行い、協議の寸法を決定すること。
2. 既設躯体の鉄筋を探索の上、アンカー用の削孔を行うこと。又、アンカー位置の変更は、協議の上位置を決定すること。
3. 主桁削孔の際には、鉄筋とPC鋼材を探索の上、削孔を行うこと。又、位置の変更は協議の上位置を決定すること。

※この図面はA1サイズを原寸とする。

西千里12号線（跨線橋）

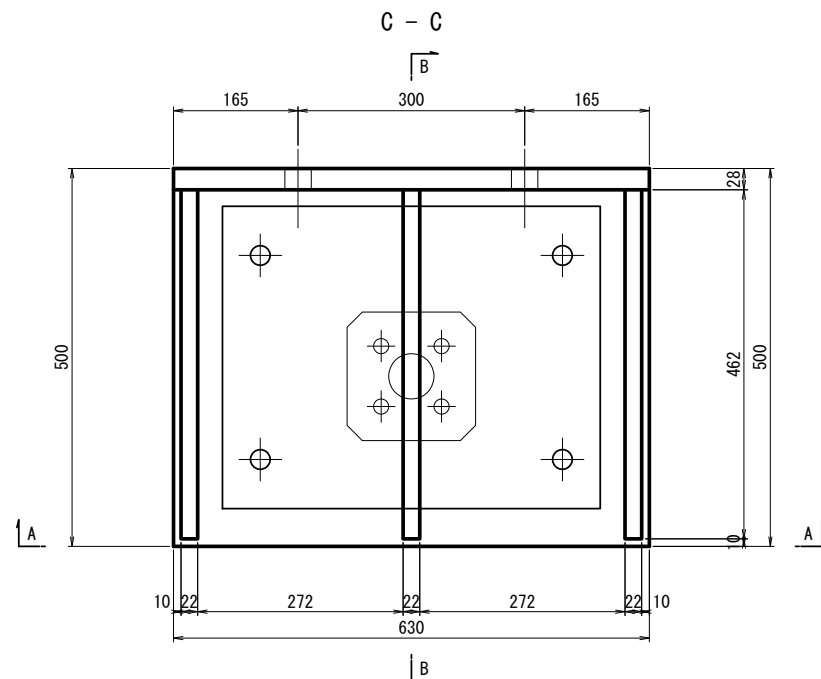
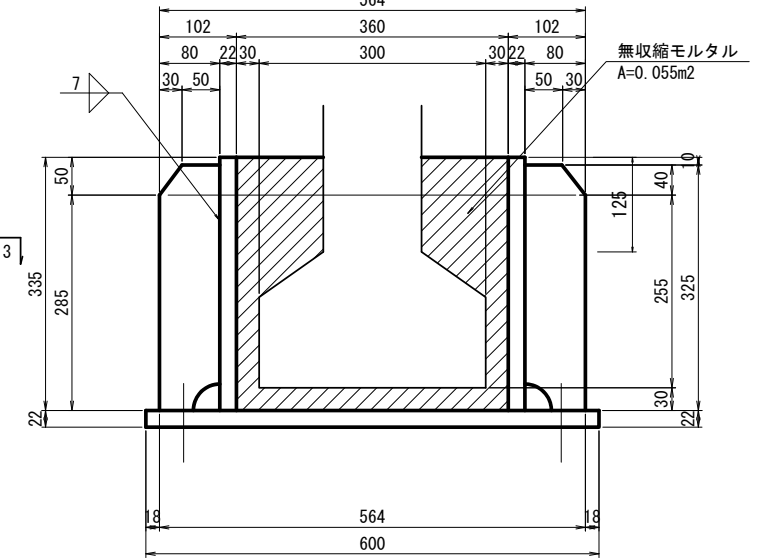
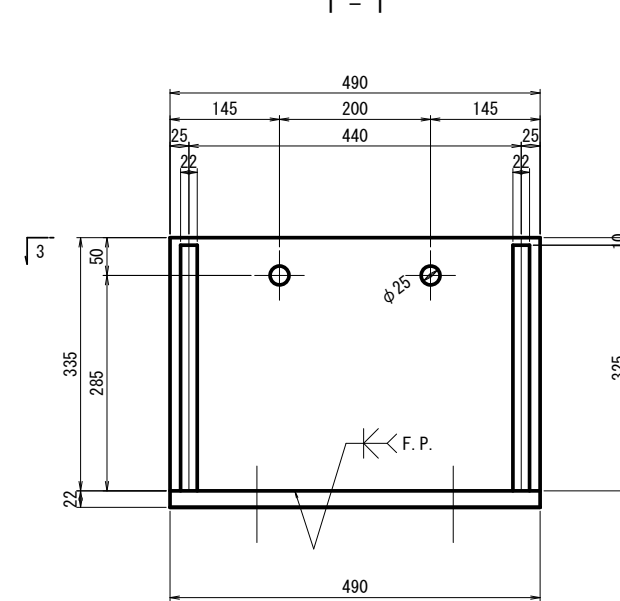
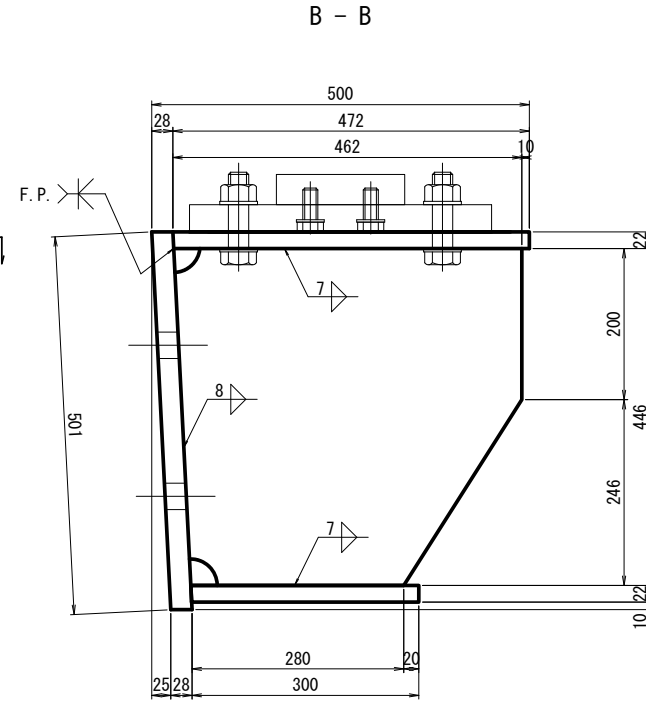
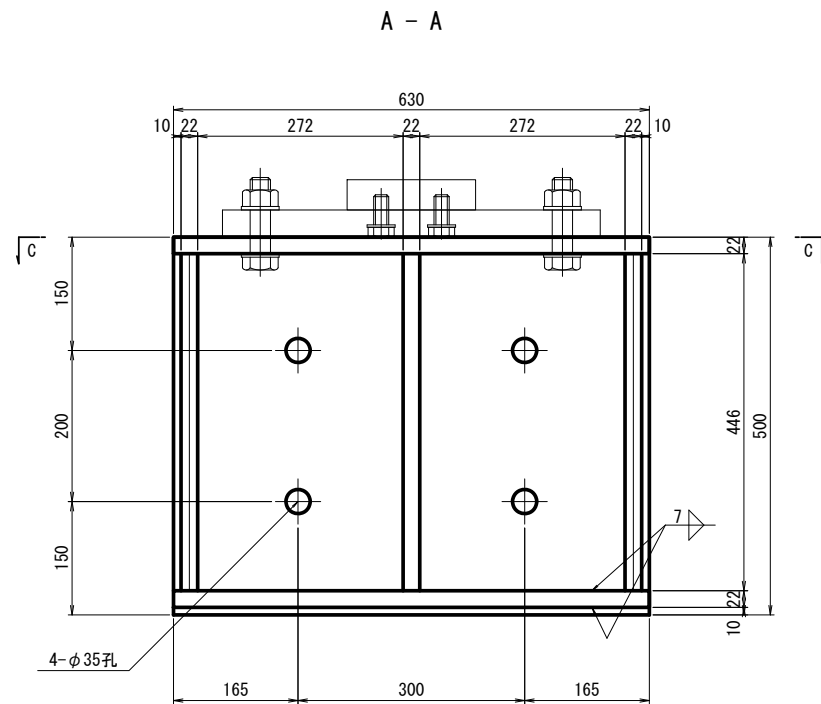
工 事 名	令和元年度 北橋維補第3号 西千里12号線（跨線橋） 橋梁長寿命化修繕工事		
施工箇所名	津市河芸西千里地内		
図面の種類	A2橋台水平力分担構造取付図		
縮 尺	図示	図面番号	3/11
事 業 所 名	津市建設部津北工事事務所		

西千里12号線（跨線橋） A1, A2橋台水平力分担構造詳細図（その1） S=1:5
（鋼製ストッパー;230kNタイプ）

下部エブラケット詳細図

上部エブラケット詳細図

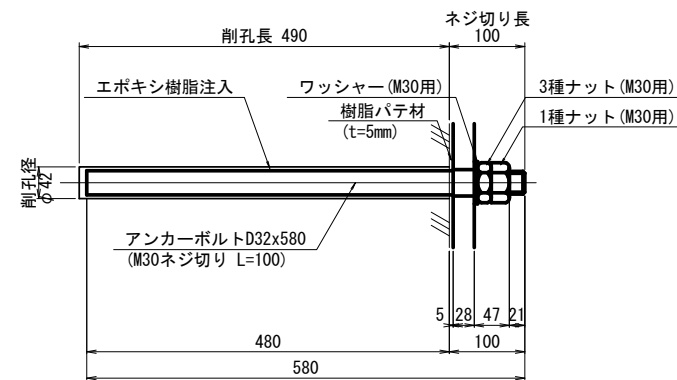
2 - 2



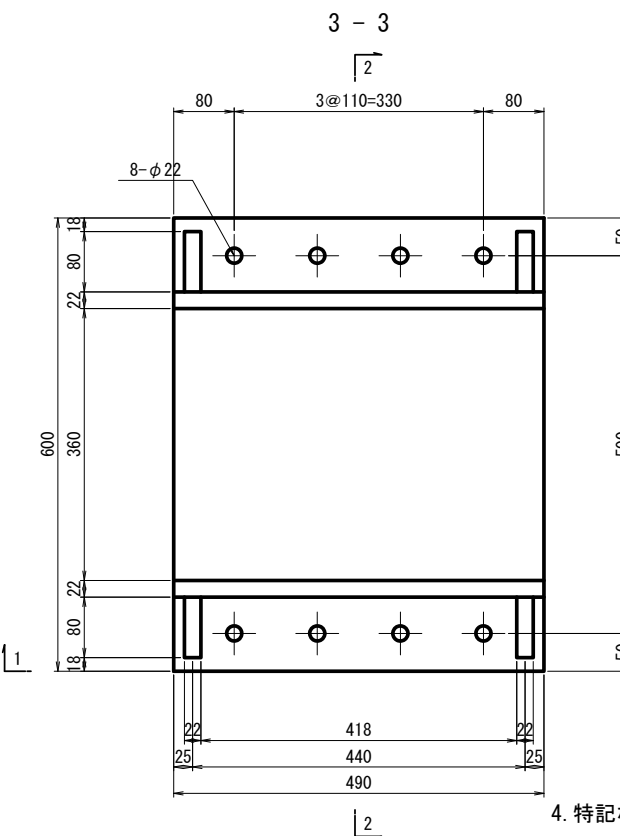
鋼製ブラケット1基当り（製作数:2基）

- 1-Base PL 501×28× 630
- 1-Fig PL 472×22× 630
- 1-Fig PL 300×22× 630
- 3-Rib PL 446×22× 462 (Net: 90%)
- 4-AncBolt D32× 580 (SD345)
- 4-1種Nut M30用 (SS400)
- 4-3種Nut M30用 (SS400)
- 4-Washer M30用 (SS400)

アンカーボルト詳細図
（下部工定着用）



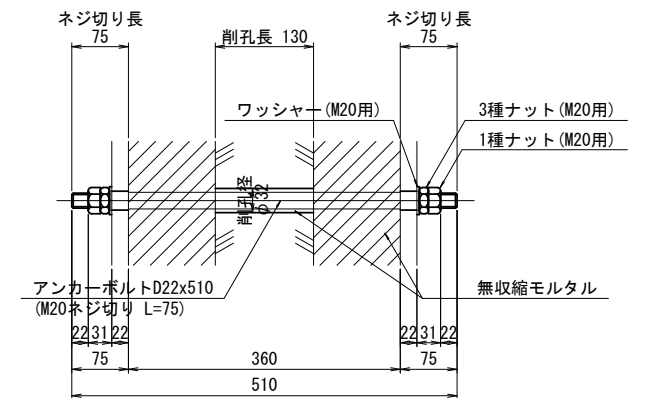
※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。
※アンカー1本当りの引抜き力 P=82.208kN 以上



鋼製ブラケット1基当り（製作数:2基）

- 1-PL 490×22×600
- 2-PL 335×22×490
- 4-PL 80×22×325
- 2-AncBolt D22×510 (SD345)
- 4-1種Nut M20用 (SS400)
- 4-3種Nut M20用 (SS400)
- 4-Washer M20用 (SS400)

アンカーボルト詳細図
（上部工定着用）



※この図面はA1サイズを原寸とする。
西千里12号線（跨線橋）

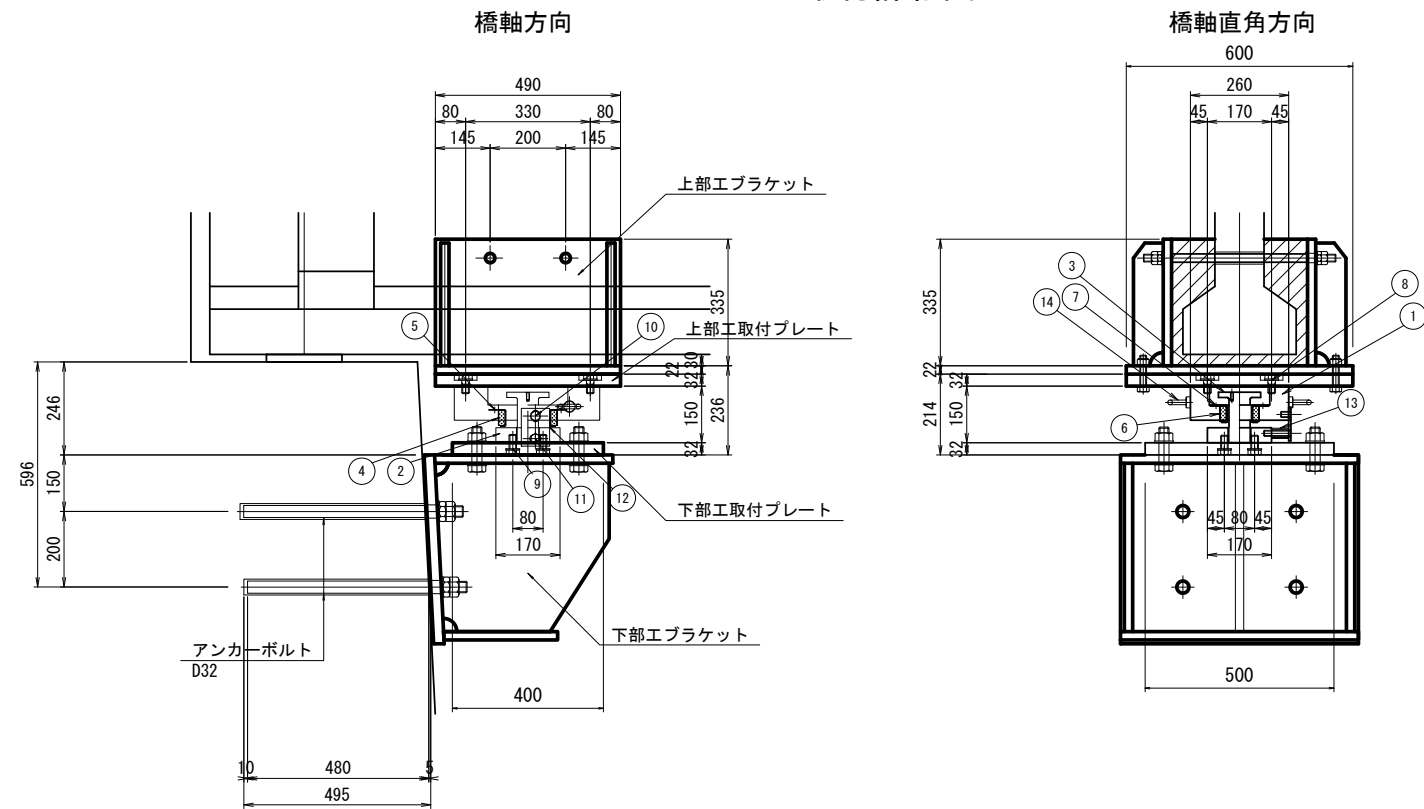
- ＜注記＞
1. 現地実測を行い、協議の上寸法を決定すること。
 2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
 3. 部材は全て溶融亜鉛めっき仕上げとする。付着量は、JIS H 8641 HDZ55とする。但し、ボルト・ナット類はHDZ35とする。

4. 特記なきスカーラップは35Rとする。
5. 既設躯体の鉄筋を探索の上、アンカー用の削孔を行うこと。又、アンカー位置の変更は、協議の上位置を決定すること。
6. 主桁削孔の際には、鉄筋とPC鋼材を探索の上、削孔を行うこと。又、位置の変更は協議の上位置を決定すること。
7. 「FP」の表示のある箇所は、完全溶込み溶接を用いる。

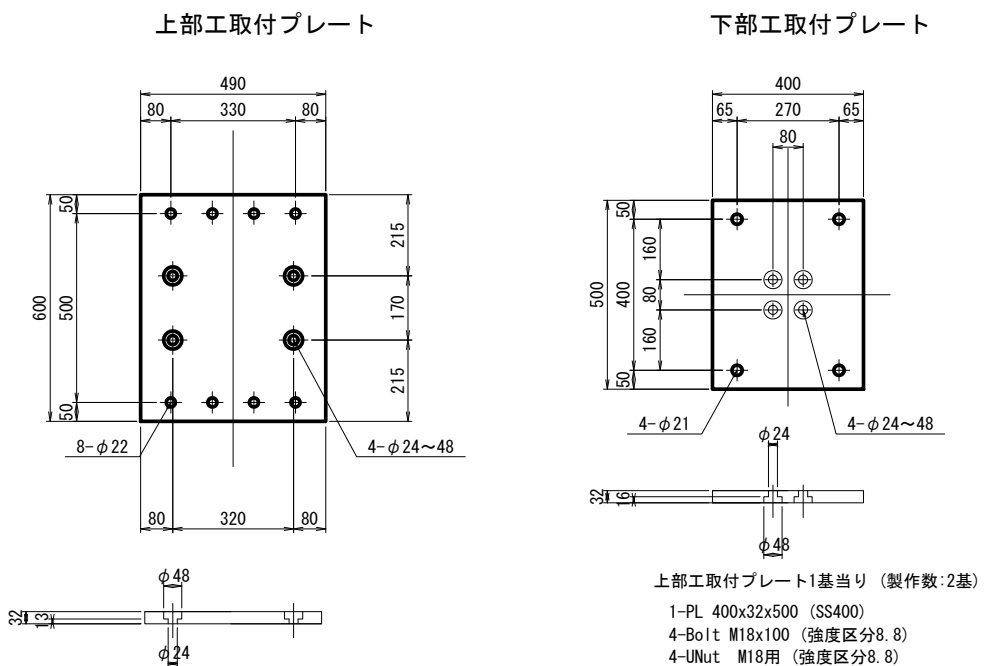
工 事 名	令和元年度 北橋維補第3号 西千里12号線（跨線橋） 橋梁長寿命化修繕工事		
施工箇所名	津市河芸西千里地内		
図面の種類	A1, A2橋台水平力分担構造詳細図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	4/11
事 業 所 名	津市建設部津北工事事務所		

西千里12号線（跨線橋） A1, A2橋台水平力分担構造詳細図（その2） S=1:10
SEリミッター（設計荷重 230kN, 移動量 30mm）同等品以上

取付詳細図



材 料 表 (SEリミッター1基当たり) 参考重量 67kg/基					全2基
部番	名 称	規 格	単位	数量	摘 要
1	ソールプレート	SEL-N230-30	個	1	SM490A: 亜鉛アルミ溶射処理
2	リミットピンプレート	SEL-N230用	個	1	SM490A: 亜鉛アルミ溶射処理
3	リミットピン	SEL-N230用	本	1	SCM435: ダクロイズド処理, DMコート
4	バッファA	SEL-N230用	個	2	クロロブレンゴム
5	バッファガイドA	SEL-N230用	個	2	SUS
6	バッファB	SEL-N230用	個	2	クロロブレンゴム
7	バッファガイドB	SEL-N230用	個	2	SUS
8	セットボルト (上側)	※ M20x 1W, 1SW付	組	4	強度区分8.8: 亜鉛めっき (HDZ35)
9	セットボルト (下側)	※ M20x 1W付	組	4	強度区分8.8: 亜鉛めっき (HDZ35)
納入時用部材					※ボルトの首下長は、締め付ける板厚を確認の上決定すること。
10	仮固定ボルトA	M16x30 1W付	組	2	SS400相当品: 電気めっき
11	仮固定ボルトB	M16x75 1W付	組	2	SS400相当品: 電気めっき
12	仮固定プレート	SEL-N230用	個	2	SS400: 電気めっき
13	スペーサー	SEL-N230用	個	2	SGP20A: 溶融亜鉛めっき
14	アイボルト	M16	個	4	SS400相当品: 亜鉛めっき (HDZ35)



上部工取付プレート1基当たり（製作数: 2基）
1-PL 400x32x500 (SS400)
4-Bolt M18x100 (強度区分8.8)
4-UNut M18用 (強度区分8.8)

上部工取付プレート1基当たり（製作数: 2基）
1-PL 490x32x600 (SS400)
4-Bolt M18x85 (強度区分8.8)
4-UNut M18用 (強度区分8.8)

- 〈注記〉
1. 現地実測を行い、協議の上寸法を決定すること。
 2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
 3. 部材は全て溶融亜鉛めっき仕上げとする。付着量は、JIS H 8641 HDZ55とする。但し、ボルト・ナット類はHDZ35とする。
 4. 既設躯体の鉄筋を探索の上、アンカー用の削孔を行うこと。又、アンカー位置の変更は、協議の上位置を決定すること。
 5. 主桁削孔の際には、鉄筋とPC鋼材を探索の上、削孔を行うこと。又、位置の変更は協議の上位置を決定すること。

※この図面はA1サイズを原寸とする。

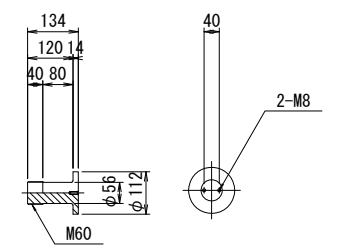
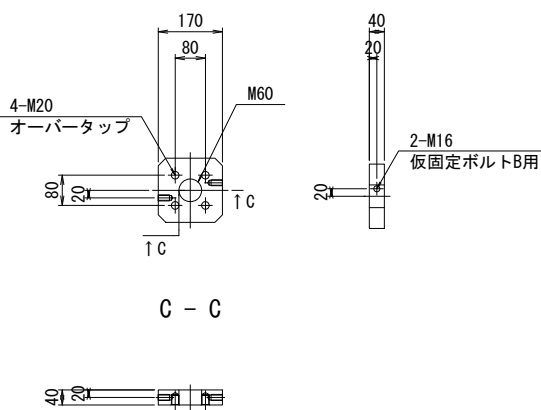
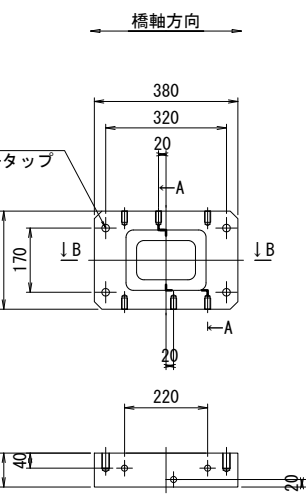
西千里12号線（跨線橋）

工 事 名	令和元年度 北橋維補第3号 西千里12号線（跨線橋） 橋梁長寿命化修繕工事		
施工箇所名	津市河芸西千里地内		
図面の種類	A1, A2橋台水平力分担構造詳細図 (その2)		
縮 尺	図示	図面番号	5/11
事 業 所 名	津市建設部津北工事事務所		

① ソールプレート
(SM490A: 亜鉛アルミ溶射処理)

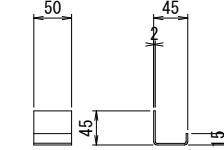
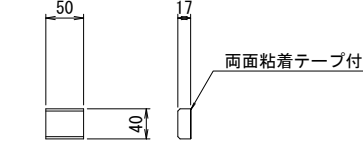
② リミットピンプレート
(SM490A: 亜鉛アルミ溶射処理)

③ リミットピン
(SCM435: DMコート)



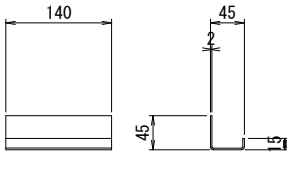
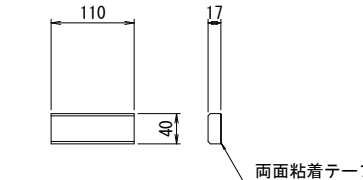
④ バッファA S=1:5
(クロロブレンゴム)

⑤ バッファガイドA S=1:5
(SUS)



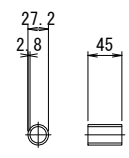
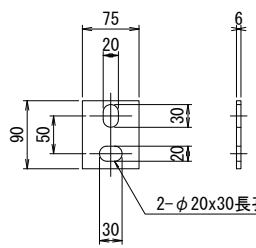
⑥ バッファB S=1:5
(クロロブレンゴム)

⑦ バッファガイドB S=1:5
(SUS)



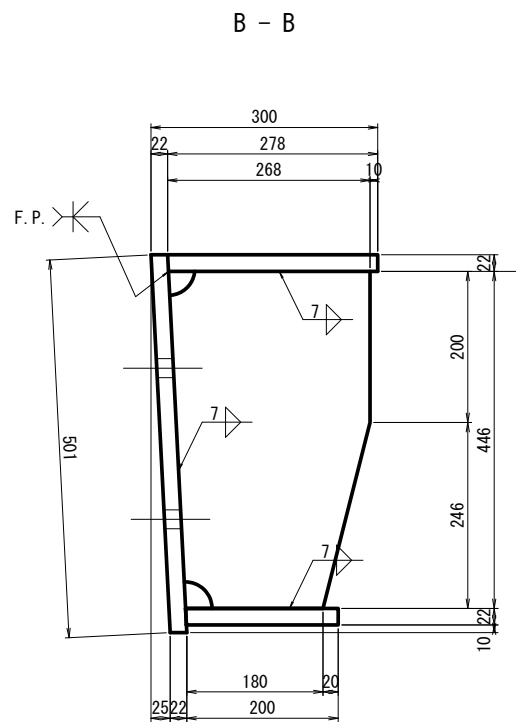
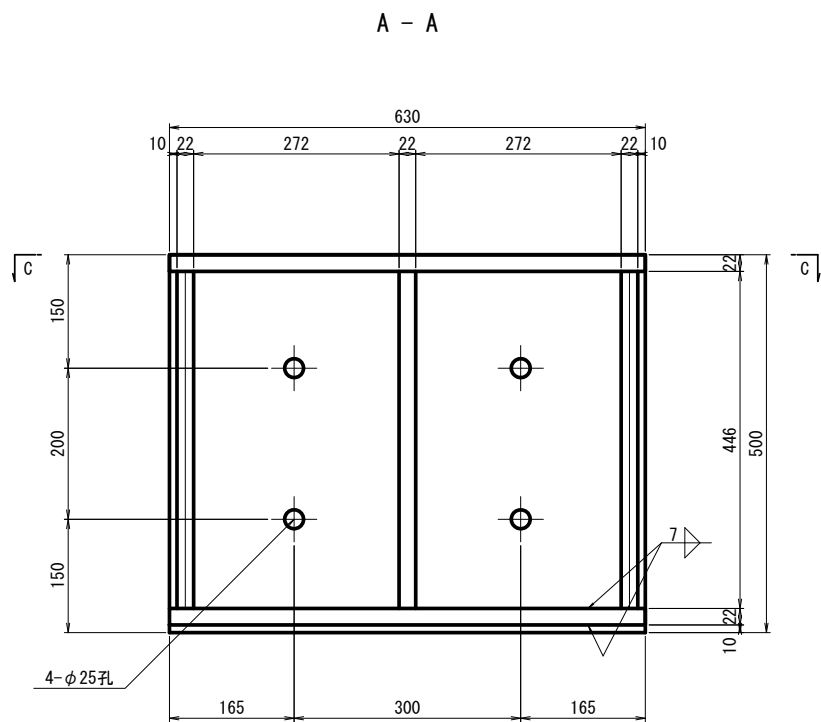
⑫ 仮固定プレート S=1:5
(SS400: 電気めっき)

⑬ スペーサー S=1:5
(SGP20A: 溶融亜鉛めっき)

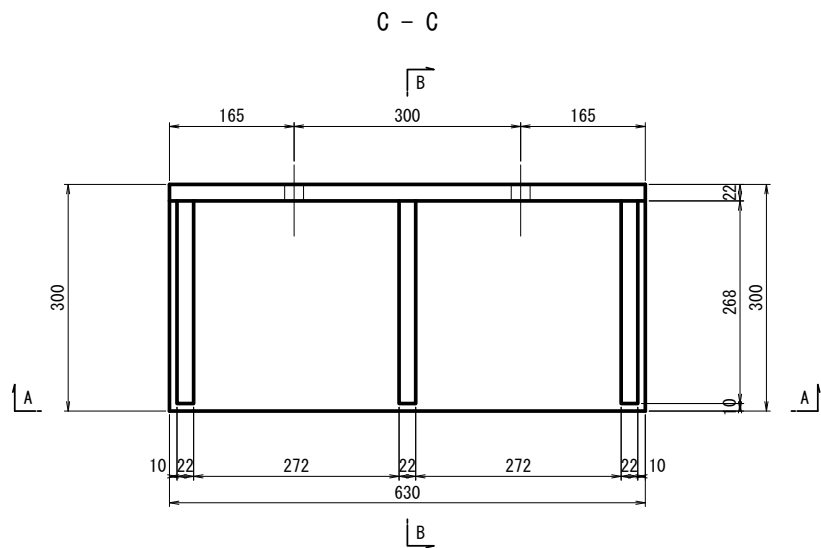
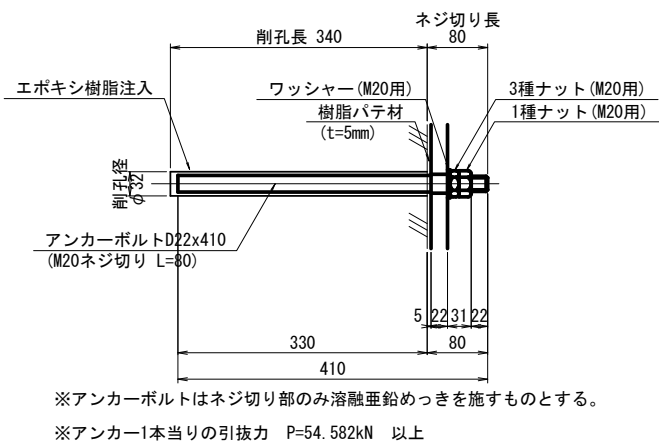


西千里12号線（跨線橋） A1, A2橋台沓座拡幅詳細図 S=1:5

下部エブラケット詳細図



アンカーボルト詳細図



- 鋼製ブラケット1基当り（製作数:2基）
- 1-Base PL 501×22× 630
 - 1-Flg PL 278×22× 630
 - 1-Flg PL 200×22× 630
 - 3-Rib PL 446×22× 268 (Net: 90%)
 - 4-AncBolt D22x 410 (SD345)
 - 4-1種Nut M20用 (SS400)
 - 4-3種Nut M20用 (SS400)
 - 4-Washer M20用 (SS400)

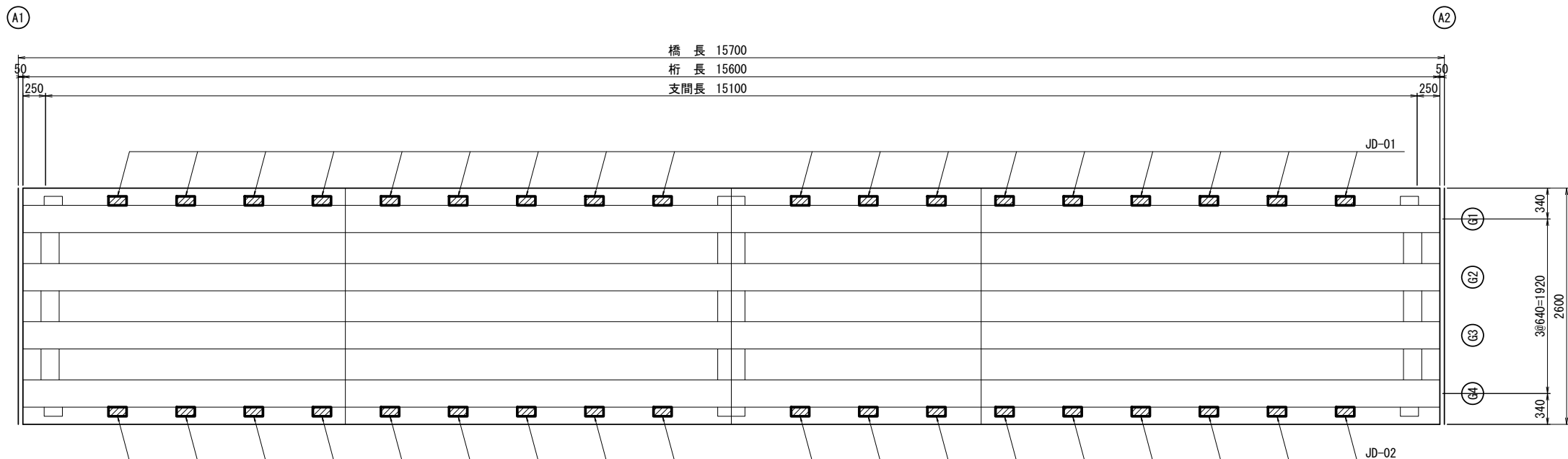
- 〈注記〉
- 現地実測を行い、協議の上寸法を決定すること。
 - 既設躯体の鉄筋を探索の上、アンカー用の削孔を行うこと。又、アンカー位置の変更は、協議の上位置を決定すること。

※この図面はA1サイズを原寸とする。
西千里12号線（跨線橋）

工 事 名	令和元年度 北橋維補第3号 西千里12号線（跨線橋） 橋梁長寿命化修繕工事		
施工箇所名	津市河芸西千里地内		
図面の種類	A1, A2橋台沓座拡幅詳細図		
縮 尺	図示	図面番号	6/11
事 業 所 名	津市建設部津北工事事務所		

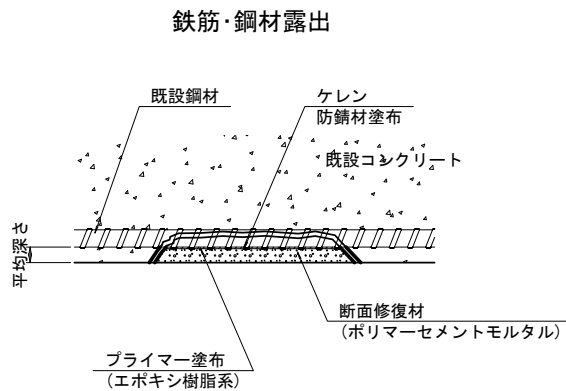
西千里12号線（跨線橋） 断面修復工詳細図

平面図 S=1:30



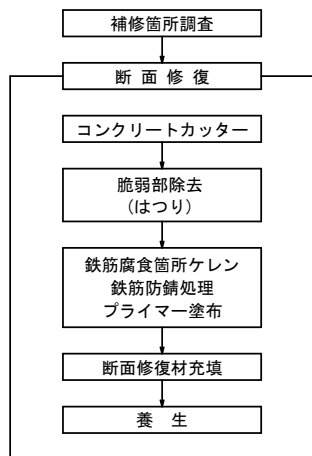
断面修復詳細図(参考)

(鉄筋ケレン・防錆処理を含む場合)

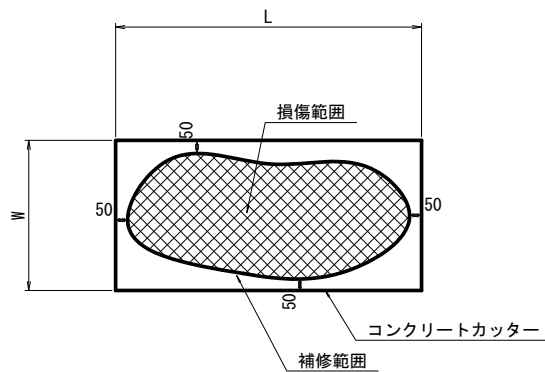


※ 腐食した鋼材の錆を完全に除去する。

施工手順



断面修復範囲図



※ 損傷部より50mm程度の余裕を確保し、10cmラウンドの長方形の範囲に対して断面修復を行う。

断面修復数量

部材	No.	形状 (m)	箇所
床版	JD-01	0.100 × 0.200 × 0.020	18
	JD-02	0.100 × 0.200 × 0.020	18
合計			36

〈注記〉

- 施工時は、現地寸法を確認のこと。
- 本図以外の箇所と同様の損傷を確認した場合、監督員と協議の上、対策を実施すること。
- 脆弱部は、はつり落とすこと。
- カッター及びはつり作業時は、既設鉄筋等を傷つけないよう注意すること。

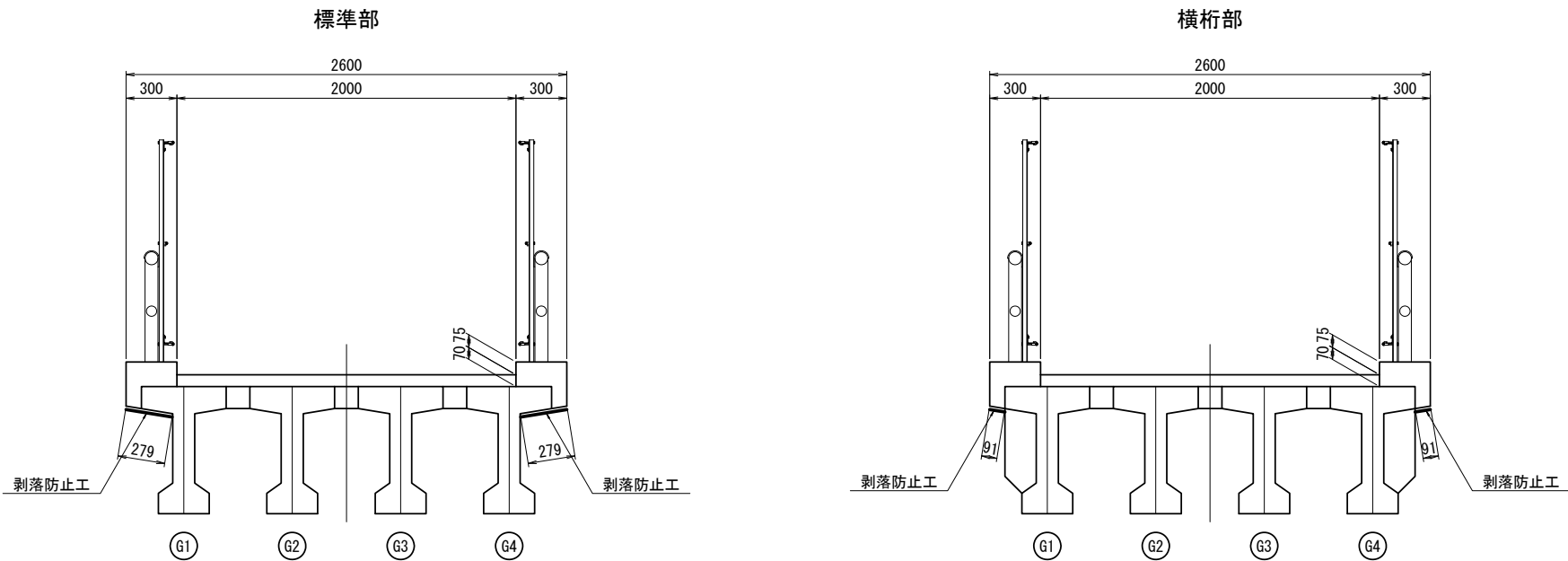
※この図面はA1サイズを原寸とする。
西千里12号線（跨線橋）

工 事 名	令和元年度 北橋維補第3号 西千里12号線（跨線橋） 橋梁長寿命化修繕工事		
施工箇所名	津市河芸西千里地内		
図面の種類	断面修復工詳細図		
縮 尺	図示	図面番号	7/11
事 業 所 名	津市建設部津北工事事務所		

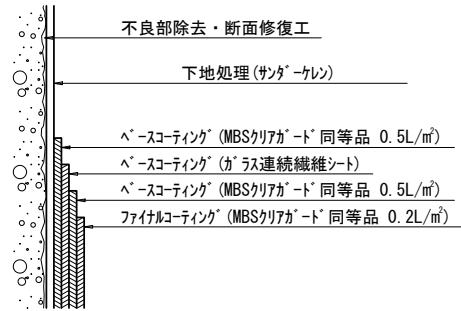
西千里12号線（跨線橋） 剥落防止工詳細図

超薄膜スケルトン落防災コーティング工法同等品以上

上部工断面図 S=1:20



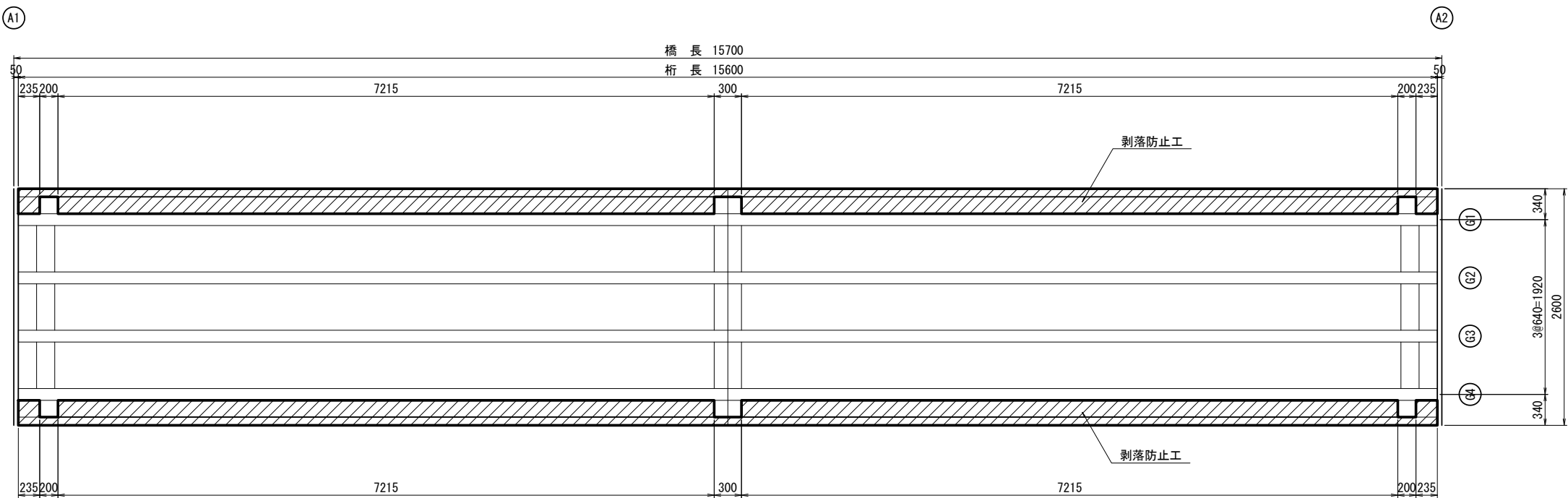
剥落防止詳細図



剥落防止					1式当り
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	
下地処理	サンダーケレン	m ²	8.4		
ベースコーティング	MBSクリアコート 同等品	L	8.9	8.44m ² ×0.5L/m ² ×0.5率1.05×2層	
ベースコーティング	ガラス連続繊維シート	m ²	9.3	8.44m ² ×0.5率1.1	
ファイナルコーティング	MBSクリアコート 同等品	L	1.8	8.44m ² ×0.2L/m ² ×0.5率1.05	

※透明な塗布接着型シートで、施工後も無色で表面異常が目視確認できること。

平 面 図 S=1:30



〈注記〉
1. 現場施工にあたっては現地計測を行い、寸法の決定を行うこと。

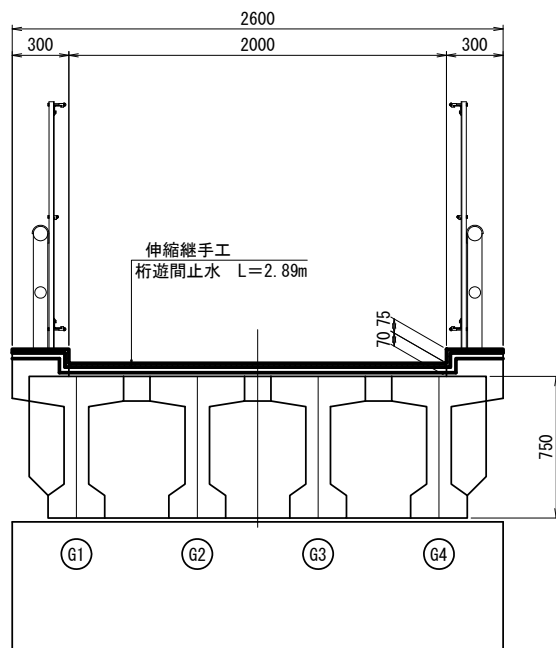
※この図面はA1サイズを原寸とする。
西千里12号線（跨線橋）

工 事 名	令和元年度 北橋維補第3号 西千里12号線（跨線橋） 橋梁長寿命化修繕工事		
施工箇所名	津市河芸西千里地内		
図面の種類	剥落防止工詳細図		
縮 尺	図示	図面番号	8/11
事 業 所 名	津市建設部津北工事事務所		

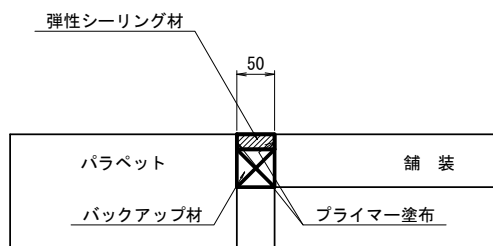
西千里12号線（跨線橋） 伸縮継手工詳細図

桁遊間止水工法同等品以上

上部工断面図 S=1:20

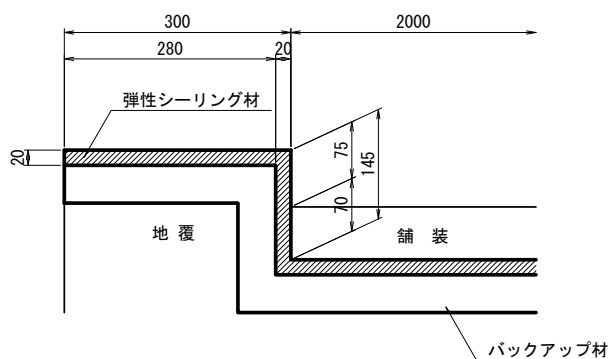


伸縮断面図 S=1:5

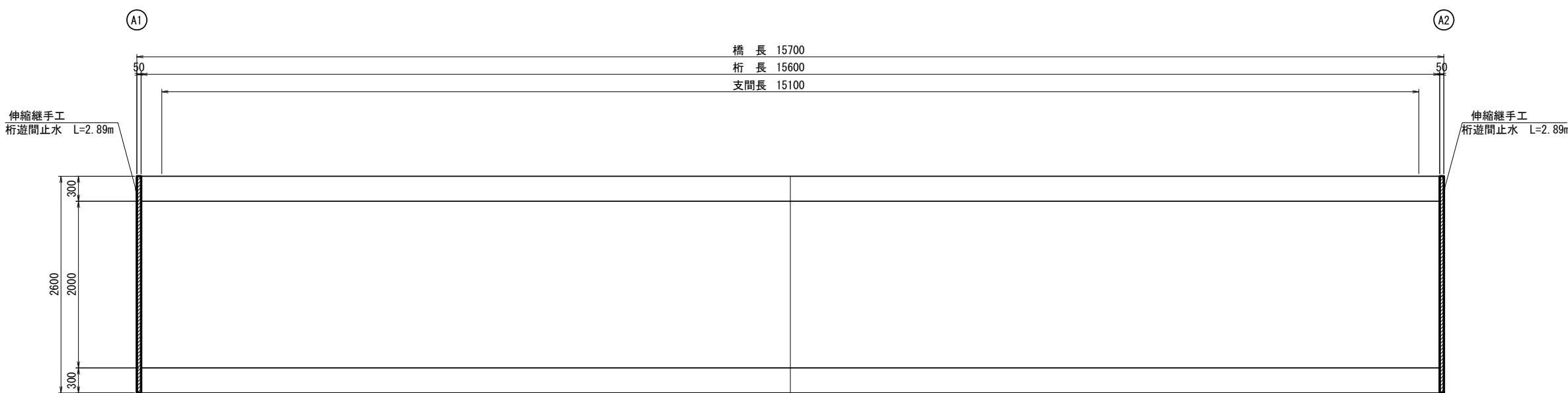


材料表 (1式当り)			
名称	規格	単位	数量
プライマー材	primer-B	kg	0.28
パテ材	クイックメンガー-30	kg	1.00
充填材	Dow CorningR 902	L	6.90
副資材	バックアップ材等	式	1

地覆処理詳細図 S=1:5



平面図 S=1:30



＜注記＞
1. 現場施工にあたっては現地計測を行い、寸法の決定を行うこと。

※この図面はA1サイズを原寸とする。

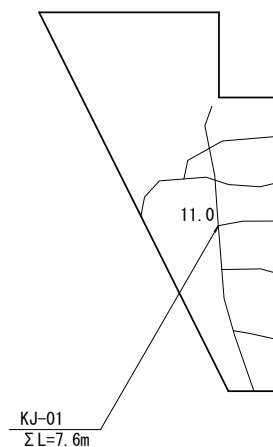
西千里12号線（跨線橋）

工 事 名	令和元年度 北橋維補第3号 西千里12号線（跨線橋） 橋梁長寿命化修繕工事		
施工箇所名	津市河芸西千里地内		
図面の種類	伸縮継手工詳細図		
縮 尺	図示	図面番号	9/11
事 業 所 名	津市建設部津北工事事務所		

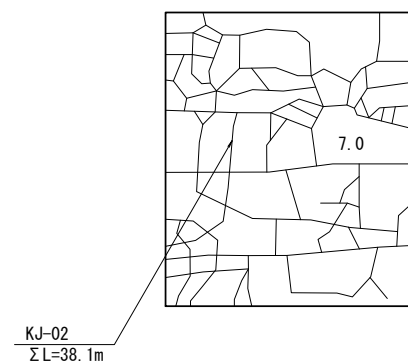
西千里12号線（跨線橋） ひび割れ補修工詳細図
(充填工法)

A1橋台 S=1:40
正面図

津方側面



鈴鹿方側面



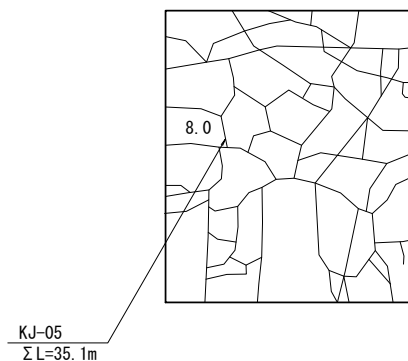
KJ-03
ΣL=9.8m

A2橋台 S=1:40
正面図

鈴鹿方側面

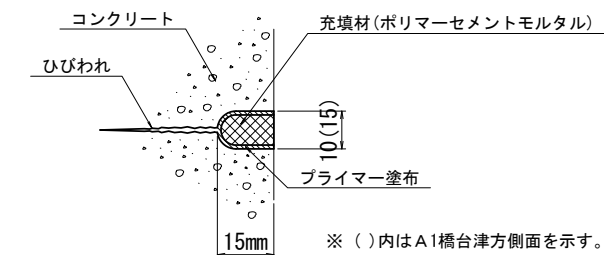


津方側面

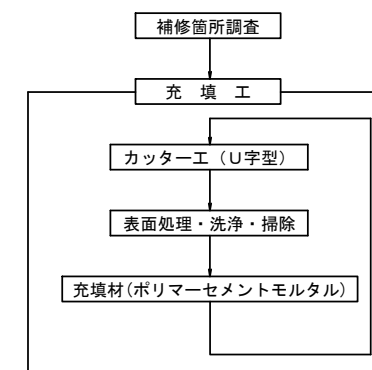


KJ-06
ΣL=13.4m

ひびわれ充填 詳細図 S=1:1



施工手順



〈注記〉

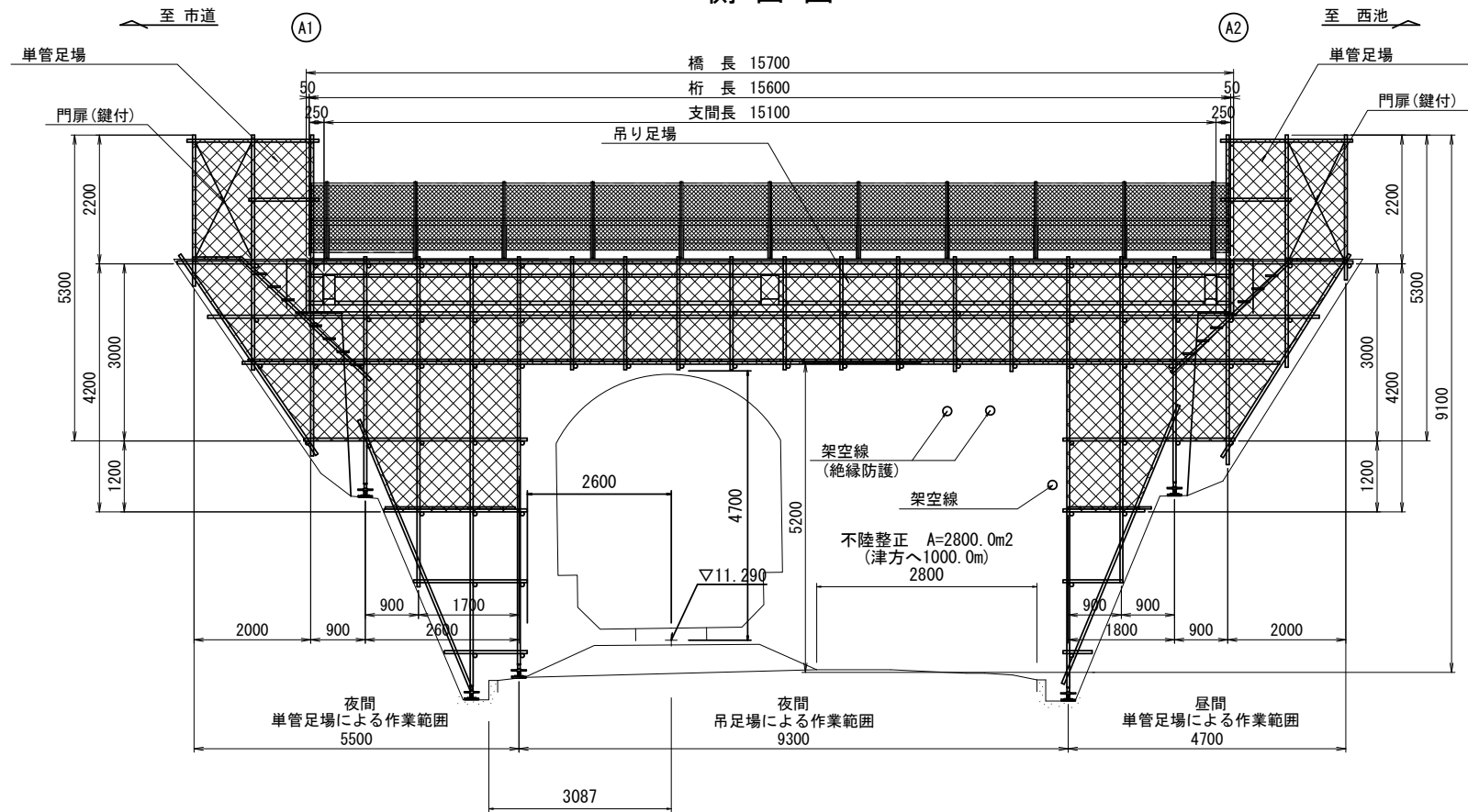
1. 施工時は、現地寸法を確認のこと。
2. ひび割れ注入工の範囲は、「既往点検データ」、「現地踏査」等に基づき決めている。施工時は、劣化範囲の進展の可能性があるので、劣化状況を確認すること。
3. 本図以外の箇所と同様の損傷を確認した場合、監督員と協議の上、対策を実施すること。

※この図面はA1サイズを原寸とする。
西千里12号線（跨線橋）

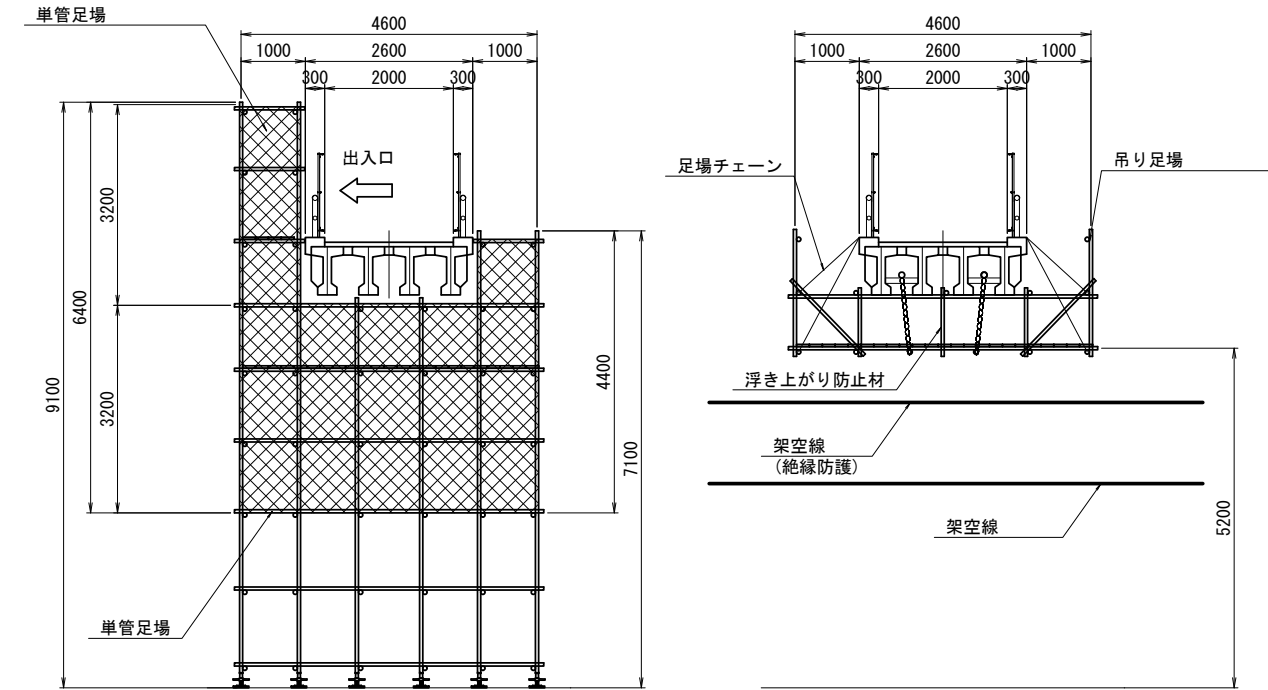
工 事 名	令和元年度 北橋維補第3号 西千里12号線（跨線橋） 橋梁長寿命化修繕工事		
施工箇所名	津市河芸西千里地内		
図面の種類	ひび割れ補修工詳細図		
縮 尺	図示	図面番号	10/11
事 業 所 名	津市建設部津北工事事務所		

西千里12号線（跨線橋） 仮設図（参考図） S=1:60

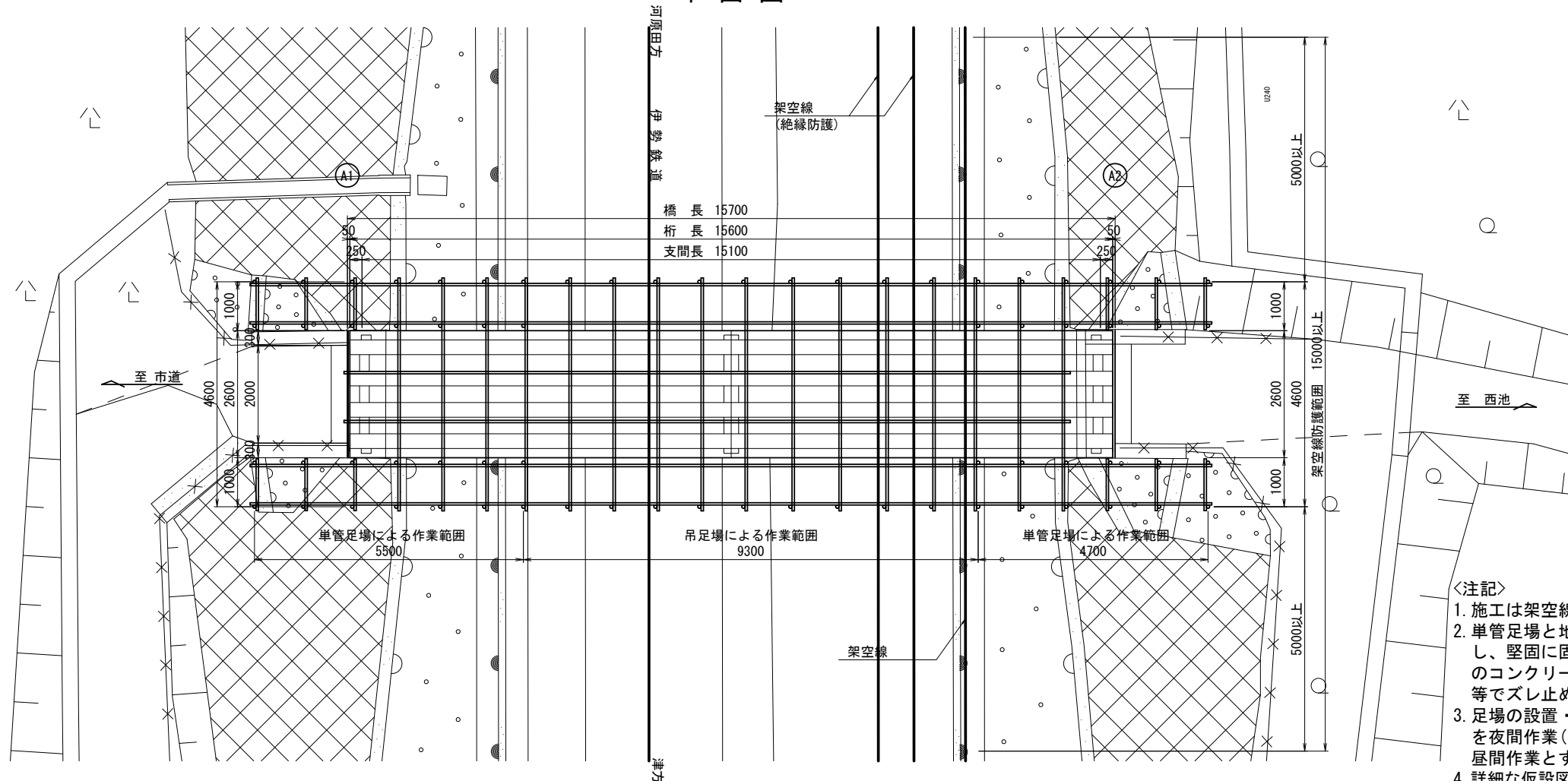
側面図



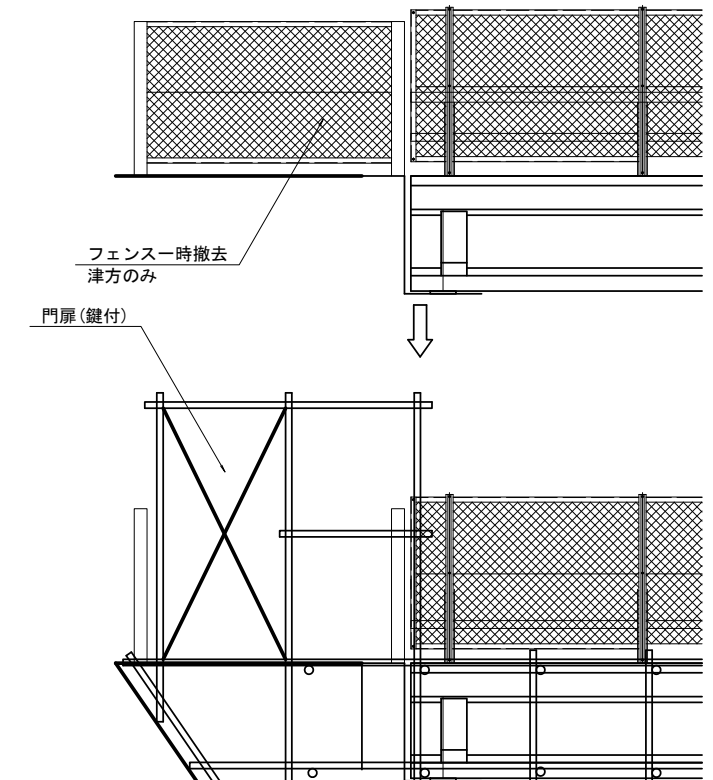
断面図



平面図



出入口



※この図面はA1サイズを原寸とする。
西千里12号線（跨線橋）

- 〈注記〉
1. 施工は架空線防護を行った上で作業すること。
 2. 単管足場と地面の設置面は、単管を地盤に根入れし、堅固に固定すること。また、垂直部材と法面のコンクリート部の設置箇所に対しては、アンカー等でズレ止めを実施すること。
 3. 足場の設置・撤去はA1側の単管足場及びの吊り足場を夜間作業（き電停止時）に行い、A2側の単管足場は、昼間作業とする。
 4. 詳細な仮設図は、伊勢鉄道との協議より決定すること。

工 事 名	令和元年度 北橋維補第3号 西千里12号線（跨線橋） 橋梁長寿命化修繕工事		
施工箇所名	津市河芸西千里地内		
図面の種類	仮設図（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	11/11
事 業 所 名	津市建設部津北工事事務所		